

資料C:高橋 寛委員提出意見

参考資料

秋田県薬剤師会 高橋 寛

専門家教育での薬害教育（薬学部）

目次

薬学教育モデル・コアカリキュラム

A 全学年を通して：ヒューマニズムについて学ぶ

- | | | |
|---------------------|-------|---|
| (1) 生と死 | | 1 |
| (2) 医療の担い手としてのこころ構え | | 1 |
| (3) 信頼関係の確立を目指して | | 2 |

B イントロダクション

- | | | |
|------------|-------|---|
| (1) 薬学への招待 | | 3 |
| (2) 早期体験学習 | | 4 |

C 薬学専門教育

[物理系薬学を学ぶ]

- | | | |
|-------------|-------|---|
| C1 物質の物理的性質 | | 4 |
|-------------|-------|---|

【現代社会と薬学との接点】

到達目標：

1. 先端医療を支える医薬品開発の現状について概説できる。
2. 麻薬、大麻、覚せい剤などを乱用することによる健康への影響を概説できる。
3. 薬害について具体例を挙げ、その背景を概説できる。

(2) 剤形をつくる	50
(3) DDS (Drug Delivery System: 薬物送達システム)	50
C17 医薬品の開発と生産	51
(1) 医薬品開発と生産のながれ	51
(2) リード化合物の創製と最適化	52

【薬害】

到達目標:

- 1) 代表的な薬害の例 (サリドマイド、スモン、非加熱血液製剤、ソリブジンなど) について、その原因と社会的背景を説明し、これらを回避するための手段を討議する。(知識・態度)

地域とのつながり -特別講演- 「サリドマイド薬害」

大学での特別講義(薬学部)

増山ゆかり先生 (財)いしずえ サリドマイド福祉センター常任理事

日時:平成21年6月19日 16:40-18:10

場所:水田記念ホール

ご自身も薬害サリドマイド被害の当事者である 増山ゆかり先生 をお招きして、特別講演を開催しました。本講演は、二村教授の発案で、伊吹非常勤講師(医療倫理)のご尽力により実現に至ったものです。基礎ゼミ(1年)、薬物代謝学(3年)、医療倫理(4年)の授業の一環として、また薬学部教職員のFDの一部として行われ、水田記念ホールの約500の座席がほぼ埋まりました。

講演では、薬害サリドマイド事件の概要や教訓、増山先生のこれまでの半生についてお話いただきました。また、手や腕が不自由な増山先生が、足を使って料理したりや自動車を運転する日常生活を映像で紹介していただきました。

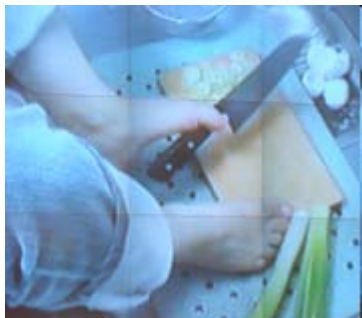
講演後には、学生から次々と質問があり、「薬害を防ぐ上で薬剤師の役割とは？」との問いに、「薬の専門家である薬剤師が、本来の使命を果たすことで、薬害は防げるので期待している」と薬剤師を目指す学生への励ましの言葉もいただきました。

増山先生のご講演は、医療人を目指す学生に、事実のもつ重さと共に深い感銘を与えたようです。学生にも教員にとっても、大変貴重な講演会でした。

聴講した学生たちの声

- ・薬が不完全な商品だという言葉が心に残った。(4年女子)
- ・薬は安全である商品として担保する為の問題点・改善点・理解を改めて深く考えさせられました。(4年男子)
- ・自分が薬剤師になったときに、どういう気持ちで患者様と接しなければいけないかを考えさせられた。(4年女子)
- ・人は人によって支えられている事を肝に銘じてこれからの目標に向かっていきたい。(4年男子)
- ・とても明るく前向きな増山先生に感銘を受けた。(4年女子)
- ・一番の被害者は母だったのかもしれない。という一言に家族の素晴らしさを感じました。(4年男子)
- ・お母さんを恨んでも当然と思われるのに、逆にお母さんの方が苦しかったと思いやれる心がすばらしい。(4年女子)

<http://jiu.ac.jp/pharmacy/news/090619.html>



専門家教育での薬害教育(医学部)

医学教育モデル・コアカリキュラム 平成19年度改訂版より

2 医療における安全性確保

(1) 安全性の確保

一般目標：

医療上の事故等(インシデント(ヒヤリハット)、医療過誤等を含む。)は日常的に起こる可能性があることを認識し、事故を防止して患者の安全性確保を最優先することにより、信頼される医療を提供しなければならないことを理解する。

到達目標：

- 1) 実際の医療には、多職種が多段階の医療業務内容に関与していることを具体的に説明できる。
- 2) 医療上の事故等を防止するためには、個人の注意力はもとより、組織的なリスク管理が重要であることを説明できる。
- 3) 医療現場における報告・連絡・相談と記録の重要性や、診療録改竄の違法性について説明できる。
- 4) 医療の安全性に関する情報(薬害や医療過誤の事例、やってはいけないこと、模範事例等)を共有し、事後に役立てるための分析の重要性を説明できる。
- 5) 医療機関における安全管理体制の在り方(事故報告書、インシデント・レポート、リスク管理者、事故防止委員会、事故調査委員会)を概説できる。
- 6) 医療の安全性確保のための、職種・段階に応じた能力の向上を図ることができる。

中学校学習指導要領 第7節 保健体育

[保健分野]

1 目標

個人生活における健康・安全に関する理解を通して、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。

2 内容

(4) 健康な生活と疾病の予防について理解を深めることができるようにする。

ア 健康は、主体と環境の相互作用の下に成り立っていること。さらに、疾病は主体の要因と環境の要因がかかりあって発生すること。

イ 健康の保持増進には、年齢、生活環境等に応じた食事、運動、休養及び睡眠の調和のとれた生活が必要なこと。また、食事の量や質の偏り、運動不足、休養や睡眠の不足などの生活習慣の乱れは、健康を損なう原因となること。

ウ 喫煙、飲酒、**薬物乱用**などの行為は、心身に様々な影響を与え、健康を損なう原因となること。また、そのような行為には、個人の心理状態や人間関係、社会環境が影響することから、それらに適切に対処する必要があること。

エ **感染症**は、病原体が主な要因となって発生すること。また、感染症の多くは、発生源をなくすこと、感染経路を遮断すること、主体の抵抗力を高めることによって予防できること。

オ 個人の健康と集団の健康とは密接な関係があり、相互に影響し合うこと。また、健康を保持増進するためには、保健・医療機関を有効に利用することが大切であること。

内容の(4)は第3学年で取り扱うものとする。

内容の(4)のエについては、**後天性免疫不全症候群(エイズ)及び性感染症についても取り扱うものとする。**

高等学校学習指導要領 第3節 公民

第2 倫理

1 目標

人間尊重の精神に基づいて、青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深めさせるとともに、人格の形成に努める実践的意欲を高め、生きる主体としての自己の確立を促し、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

イ 現代に生きる人間の倫理

人間の尊厳と生命への畏敬，自然や科学技術と人間とのかかわり，民主社会における人間の在り方，社会参加と奉仕，自己実現と幸福などについて，倫理的な見方や考え方を身に付けさせ，他者と共に生きる自己の生き方にかかわる課題として考えを深めさせる。

第3款 各科目における内容の取扱い

各科目の指導に当たっては、情報を主体的に活用する学習活動を重視するとともに、作業的、体験的な学習を取り入れるよう配慮するものとする。そのため、各種の統計，年鑑，白書，新聞，読み物その他の資料に親しみ，活用すること，観察，見学及び調査・研究したことを発表したり報告書にまとめたりすることなど様々な学習活動を取り入れるとともに、コンピュータや情報通信ネットワークなどを活用して学習の効果を高めるよう工夫するものとする。

子供たちの感想から

北にはばたく 北海道薬害エイズ訴訟・戦いの記録より

- ・私はたまに死にたいと思うことがあります。講話を聞いて、なんとおろかだったのだろうと、自分を責めました。(高校1年生)

感じとれる

子供たちの意識

- 薬害エイズというのは、よく聞くことだけでも現実的ではないというか、自分からはちょっと遠いような気がしていた。(高校1年生)

言葉は知っている

- エイズについて、ただ「こわい」病気、同性愛や麻薬中毒者の病気といったイメージがありました。(大学1年生)

何を伝えるべきなのか？

- 命の大切さ
- 薬害の事件としての事実
- 被害者の現在の姿
- 被害者・遺族の気持ち
- 多くの人が犠牲になったこと
- 薬害教育の大切さ
- 医薬品行政の取組み

何かを感じとることは
できるのでは？

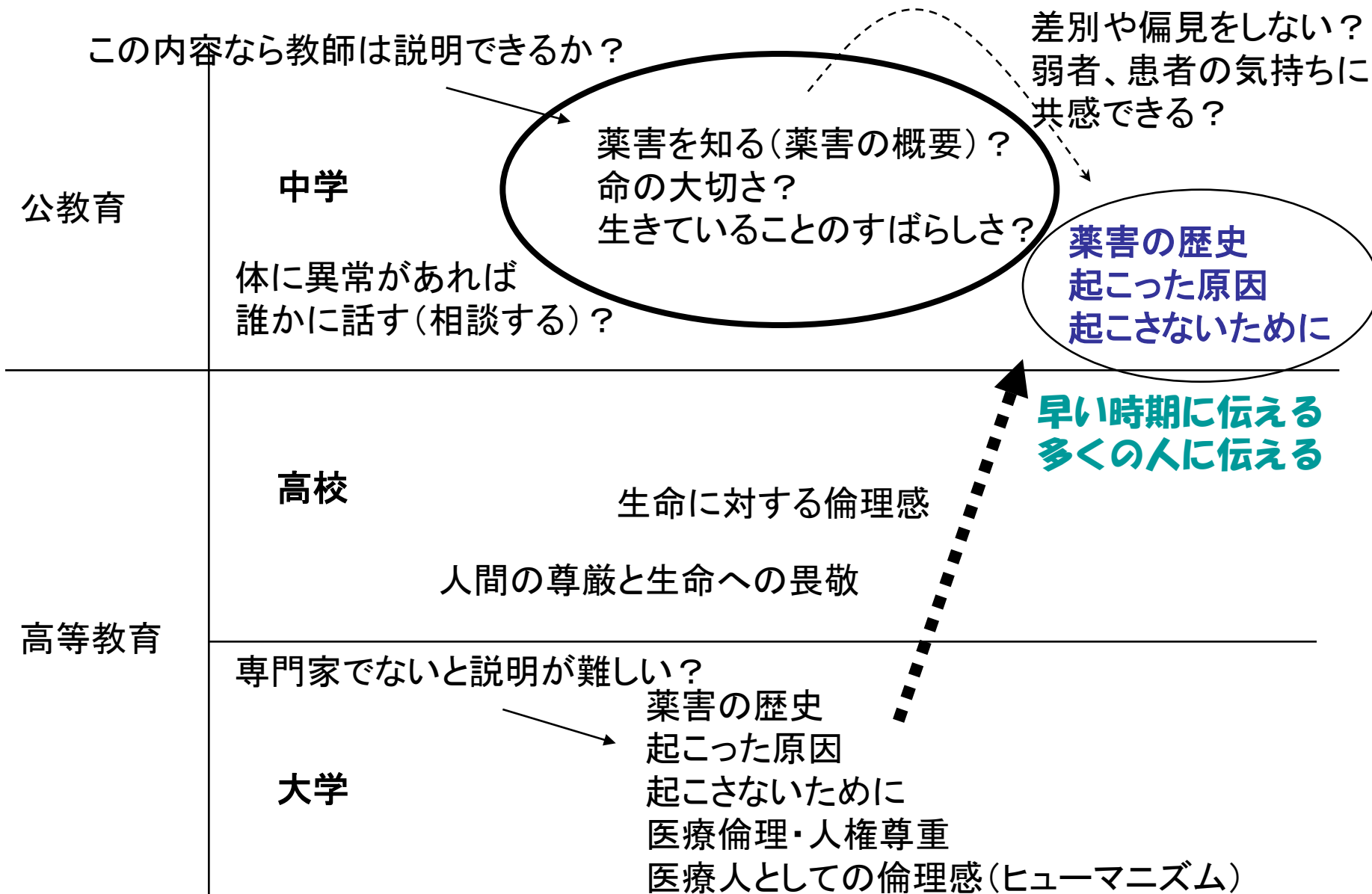
何が欠けて
いたのか？

それなりの知識がないと理解
できない可能性がある？

○ 全国薬害被害者団体連絡協議会要望書(平成21年8月)(抜粋)
＜高等(専門)教育に関して＞

【1】2002年3月25日に、CJD薬害の被害者と国との間で交わされた和解確認書の『我が国で医薬品等による悲惨な被害が多発していることを重視し、その発生を防止するため、医学、歯学、薬学、看護学部等の教育の中で過去の事件などを取り上げるなどして医薬品の安全性に対する関心が高められるよう努めるものとする』という一文の主旨に沿って、文部科学省は**医学、歯学、薬学、看護学部の教育のカリキュラムで、過去の薬害被害について学ぶ取り組みをする義務があります**。これらについて昨年からのさらなる進捗状況について具体的に明らかにして下さい。なお、その際、薬害の原因や実態だけでなく、**被害者や遺族への差別や偏見の歴史の問題など、人権教育の問題についてのどのような教育が進められているか**についても明らかにして下さい。

【2】ここ数年間、毎年度まとめて頂いている「薬学問題に対する各大学の取り組み状況」について今年産も最新の状況を明らかにして下さい。薬害を知らない医療従事者がつくられてしまわないよう、今後とも、すべての大学において、薬害被害者の声を直接聞く等、適切な医療倫理、人権学習等がなされていくよう要望していますが、近年、実施率が伸び悩んでおります。このことに対してどのように考えておられるか、また、対策を講じておられるのかについて明ちかにして下さい。



早い時期に伝える
多くの人に伝える

**薬害を二度と起こさないためには、
生涯にわたる薬害の教育が必要！**

中3教材の記載内容のまとめ

- 薬害の事実を記載する
- その被害の実態と原因、保障などを記載する
- 被害者の声や姿を記載する
- 日本の薬害の特徴(被害者の数が多い)を記載する
- 薬は人の命を救うこと、薬害と副作用は違うことも記載する
- 課題を記載する(例:どんなことを感じたか友達と話しあってみよう!)

- ・ 具体的には
- ・ 年表を使って、我が国にはこれまで数々の薬害があったことを示し、その原因はどこにあったかを簡単に述べる
- ・ 薬害の特徴を簡潔に解説する
- ・ 「薬害根絶の碑」が建立されたことを写真や文面で述べる

- ・ 最後のページに
- ・ 同時に「繰り返されてきた」ことも問題であることを述べる。

- ・ メーカー、行政、医療従事者、それぞれが自分の都合や利益を優先して、薬の恩恵を受けるはずの国民の健康や安全を最優先に考えてこなかった結果、発生し、拡大したのが薬害である。人が起こしたのが薬害で、単に薬の好ましくない作用が生じたのが副作用。そして、薬害は不可逆的なこと。その結果、差別を受けたり、不自由な生活を強いられたい、人生や夢の変更を余儀なくされるほどのものであることも、副作用とは異なる。

- ・ 薬は本来人の命を救い、健康を守るためのものだが、不適切な物質を薬として認可して使用し始めたり、使い方が不適切であると、受ける必要のない被害を被ってしまうことになる。



中学生に必要なのは、

たくさん食べさせることか？

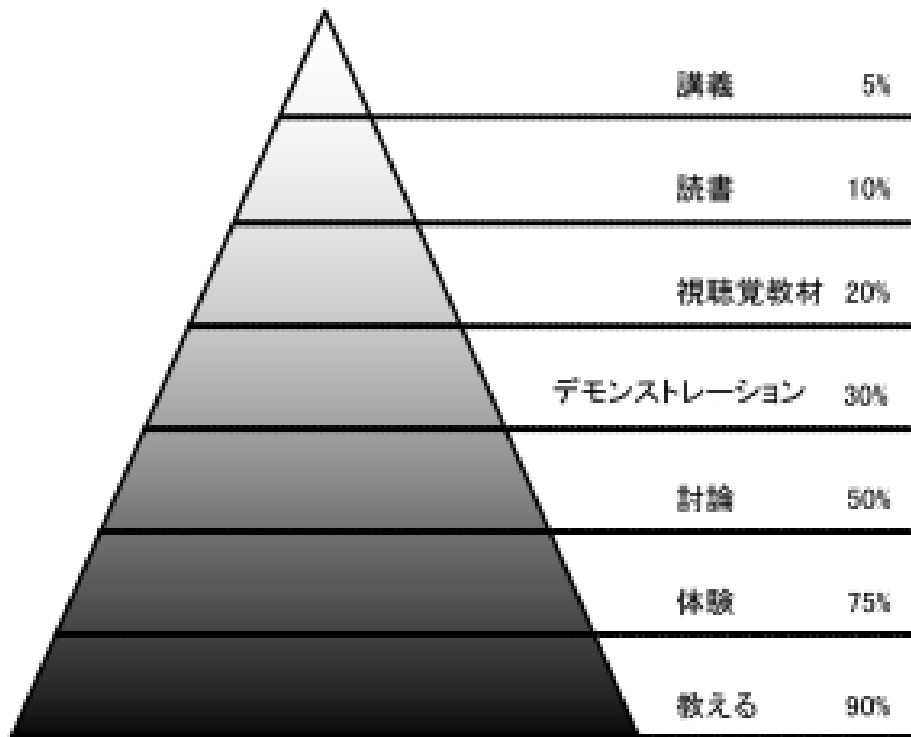
ゆっくり味合わせることか？

どっちにしても、食べないとわからない！

学習のピラミッド

Learning Pyramid

どのように学べば、学習定着率が高いか。



National Training Laboratories(NTL) Institute for Applied Behavioral Science (USA)より

I heard I forget
I saw I remember
I did I understand

聞いただけでは忘れます
見たことは覚えています
やったことは理解します

話し合ったり、体験したり
他の人に教えたりすると
定着度が高い

疑似体験グッズ



<http://fukukaigo.exblog.jp/13191426/>